



2025年2月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年10月8日

上場会社名 タピオ 株式会社
コード番号 2668 URL <https://tabio.com/jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 勝寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 関 淑束

TEL 06-6632-1200

半期報告書提出予定日 2024年10月9日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年3月1日～2024年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	7,961	5.6	306	27.5	313	26.9	179	8.1
2024年2月期中間期	7,540	7.4	240	386.3	247	283.2	195	

(注) 包括利益 2025年2月期中間期 168百万円 (14.0%) 2024年2月期中間期 196百万円 (%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	26.47	
2024年2月期中間期	28.76	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	8,217	4,429	53.9
2024年2月期	7,680	4,471	58.2

(参考) 自己資本 2025年2月期中間期 4,429百万円 2024年2月期 4,471百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期		0.00		30.00	30.00
2025年2月期		0.00			
2025年2月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,561	2.1	684	14.3	689	10.9	510	8.7	75.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期中間期	6,813,880 株	2024年2月期	6,813,880 株
期末自己株式数	2025年2月期中間期	23,290 株	2024年2月期	17,731 株
期中平均株式数(中間期)	2025年2月期中間期	6,786,023 株	2024年2月期中間期	6,794,405 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2024年3月1日～2024年8月31日）におけるわが国経済は、社会・経済活動の正常化が進み、円安を背景としたインバウンド需要の拡大、雇用・所得環境の改善などにより、経済は緩やかな回復基調となりました。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の悪化など不安定な海外情勢の継続や、日本銀行の金融政策見直しに伴う政策金利の動向、不安定な為替相場など先行きについては依然とし不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当グループは、昨年度より商品供給体制の強化に取り組んでまいりましたが、生産工程の人員不足が恒常化しており、一部の人気商品で在庫不足が発生しました。これを受け、更に踏み込んだ生産戦略を実行してまいります。具体的には、①シーズン立ち上がりの生産を従来よりも早期化、②定番・売れ筋商品生産数の平準化による、適切な在庫水準の確保と販売機会損失の削減に取り組み、収益の最大化を目指しております。

メンズ売上50億円の中期目標実現に向けては、メンズカジュアル商品の展開比率を拡大しております。具体的には、今期春夏商品では「FULL MESH」商品の生産体制を強化した結果、大きく売り上げを伸ばし、メンズ売り上げの伸長に貢献いたしました。また幅広い年齢層とニーズに対応できる「見やすい」「選びやすい」売り場づくりを実施いたしました。

またスポーツ事業では、FCバルセロナとのコラボレーション商品としてフットボールソックス1型・カジュアルソックス10型を国内・中国の実店舗およびオンラインストアで販売に着手しました。国内店舗では主に男性客やインバウンド客のご購入が多く、中国・香港の店頭販売も好調に推移しております。中国・香港ではFCバルセロナファンクラブと連携した交流会を実施、国内でもバルサアカデミーキャンプでの発売を行いました。これらにより、新規顧客への認知度を高めるとともに世界的なブランドイメージの向上を目指してまいります。

さらに『靴下屋』は今年、40周年という節目を迎えました。スタート当初のコンセプト「包まれて、暮らしたい」は、「靴下は足をやさしく包みこむもの」という考えから生まれました。40年という長い歳月を経た今もその根幹は変わることなく、今後もさらにお客様に愛されつづける品質とサービスの提供に取り組むとともに、市場環境の変化に柔軟に対応しながら、ブランド価値の向上と企業価値の最大化に努めてまいります。

出退店状況におきましては、フランチャイズチェーン店2店舗と直営店2店舗の新規出店、フランチャイズチェーン店3店舗と直営店2店舗の退店により、当中間連結会計期間末における店舗数は、フランチャイズチェーン店116店舗（海外代理商による30店舗を含む）、直営店154店舗（海外4店舗を含む）、合計270店舗となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は7,961百万円（前年同期比5.6%増）となりました。内訳は、国内専門店事業で6,063百万円（前年同期比1.3%増）、国内EC事業で976百万円（前年同期比13.3%増）、海外・スポーツ卸事業922百万円（前年同期比33.2%増）と好調に推移しました。利益面では、営業利益306百万円（前年同期比27.5%増）、経常利益313百万円（前年同期比26.9%増）、親会社株主に帰属する中間純利益179百万円（前年同期比8.1%減）となりました。

なお、当グループの売上高は、取扱い商品が防寒という機能を持つ靴下のため、上半期（3月～8月）に比べ下半期（9月～2月）に販売される割合が大きくなっております。従いまして連結会計年度の上半期の売上高と下半期の売上高との間には著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当中間連結会計期間末における総資産は、商品181百万円、受取手形及び売掛金133百万円、現金及び預金70百万円の増加があったこと等により、前連結会計年度末と比べて536百万円増加し、8,217百万円となりました。

負債については、長期借入金310百万円、電子記録債務78百万円の増加があったこと等により、前連結会計年度末と比べて579百万円増加し、3,787百万円となりました。

純資産については、配当金の支払いによる利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末と比べて42百万円減少し、4,429百万円となりました。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の58.2%から53.9%に減少しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ70百万円増加し、1,608百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益277百万円の計上、棚卸資産の増加180百万円があったこと等により、144百万円(前年同期56百万円)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出76百万円、無形固定資産の取得による支出43百万円があったこと等により、△148百万円(前年同期△537百万円)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入による収入500百万円、配当金の支払額203百万円、長期借入金の返済による支出138百万円があったことにより、62百万円(前年同期△375百万円)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期における通期の連結業績予想については、2024年4月9日に公表しました業績予想から変更しておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,538,422	1,608,684
受取手形及び売掛金	723,934	857,906
商品	864,695	1,046,190
貯蔵品	654	315
その他	188,652	216,430
貸倒引当金	△1,274	△5,296
流動資産合計	3,315,085	3,724,231
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	545,688	550,227
土地	1,601,791	1,601,791
その他(純額)	261,395	406,715
有形固定資産合計	2,408,876	2,558,734
無形固定資産		
	327,529	331,370
投資その他の資産		
差入保証金	1,036,879	1,066,583
その他	591,877	536,301
投資その他の資産合計	1,628,756	1,602,884
固定資産合計	4,365,162	4,492,990
資産合計	7,680,247	8,217,221
負債の部		
流動負債		
買掛金	409,196	416,968
電子記録債務	477,829	556,233
1年内返済予定の長期借入金	223,169	273,775
未払法人税等	130,948	77,483
賞与引当金	254,836	264,782
資産除去債務	4,074	3,600
その他	796,987	887,820
流動負債合計	2,297,042	2,480,664
固定負債		
長期借入金	118,066	428,289
退職給付に係る負債	73,589	83,768
資産除去債務	307,914	314,600
その他	411,666	480,145
固定負債合計	911,237	1,306,804
負債合計	3,208,280	3,787,469

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,789	414,789
資本剰余金	92,525	93,497
利益剰余金	3,781,572	3,757,284
自己株式	△18,820	△26,625
株主資本合計	4,270,066	4,238,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,009	△16,456
為替換算調整勘定	△4,603	7,392
退職給付に係る調整累計額	210,513	199,871
その他の包括利益累計額合計	201,900	190,808
純資産合計	4,471,966	4,429,752
負債純資産合計	7,680,247	8,217,221

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	7,540,235	7,961,641
売上原価	3,242,914	3,431,493
売上総利益	4,297,321	4,530,147
販売費及び一般管理費	4,056,781	4,223,459
営業利益	240,539	306,687
営業外収益		
受取利息	90	70
受取配当金	-	3,041
仕入割引	5,668	3,500
為替差益	4	30
その他	3,839	5,210
営業外収益合計	9,603	11,853
営業外費用		
支払利息	2,245	3,718
その他	533	873
営業外費用合計	2,778	4,592
経常利益	247,364	313,948
特別損失		
固定資産除売却損	1,223	726
役員特別功労金	-	36,000
減損損失	6,336	-
特別損失合計	7,559	36,726
税金等調整前中間純利益	239,804	277,222
法人税、住民税及び事業税	46,106	51,409
法人税等調整額	△1,675	46,216
法人税等合計	44,430	97,626
中間純利益	195,373	179,595
親会社株主に帰属する中間純利益	195,373	179,595

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	195,373	179,595
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	△12,447
為替換算調整勘定	1,993	11,996
退職給付に係る調整額	△1,359	△10,641
その他の包括利益合計	634	△11,092
中間包括利益	196,007	168,503
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	196,007	168,503
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	239,804	277,222
減価償却費	116,438	132,137
減損損失	6,336	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,066	4,022
賞与引当金の増減額 (△は減少)	47,409	9,945
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,210	△5,150
受取利息及び受取配当金	△90	△3,112
支払利息	2,245	3,718
固定資産除売却損	1,223	726
売上債権の増減額 (△は増加)	△45,423	△133,786
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△116,947	△180,084
仕入債務の増減額 (△は減少)	△52,027	85,384
契約負債の増減額 (△は減少)	△3,373	2,024
その他の資産の増減額 (△は増加)	△47,117	△5,472
その他の負債の増減額 (△は減少)	5,744	40,711
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△58,537	20,688
小計	99,829	248,976
利息及び配当金の受取額	90	3,112
利息の支払額	△2,461	△4,074
法人税等の支払額	△41,284	△103,217
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,173	144,797
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△310,676	△76,832
有形固定資産の除却による支出	△4,728	△8,953
有形固定資産の売却による収入	-	0
無形固定資産の取得による支出	△41,002	△43,245
投資有価証券の取得による支出	△200,000	-
その他の支出	△7,900	△41,520
その他の収入	26,803	22,240
投資活動によるキャッシュ・フロー	△537,503	△148,310
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	500,000
長期借入金の返済による支出	△109,622	△138,015
自己株式の取得による支出	-	△25,229
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△64,059	△70,359
配当金の支払額	△201,387	△203,598
財務活動によるキャッシュ・フロー	△375,069	62,798
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,712	10,977
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△851,686	70,262
現金及び現金同等物の期首残高	2,601,731	1,538,422
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,750,044	1,608,684

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当グループは、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。